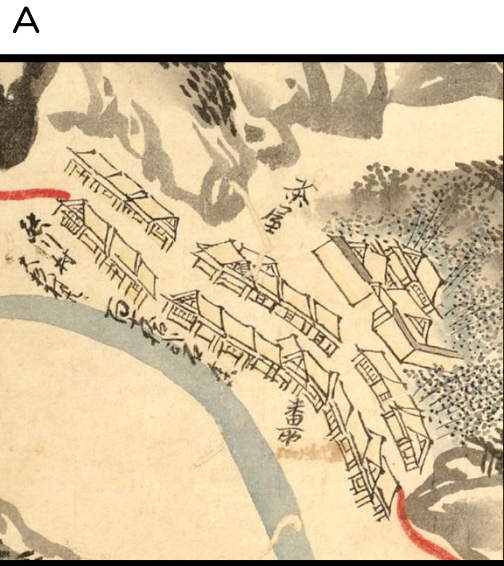
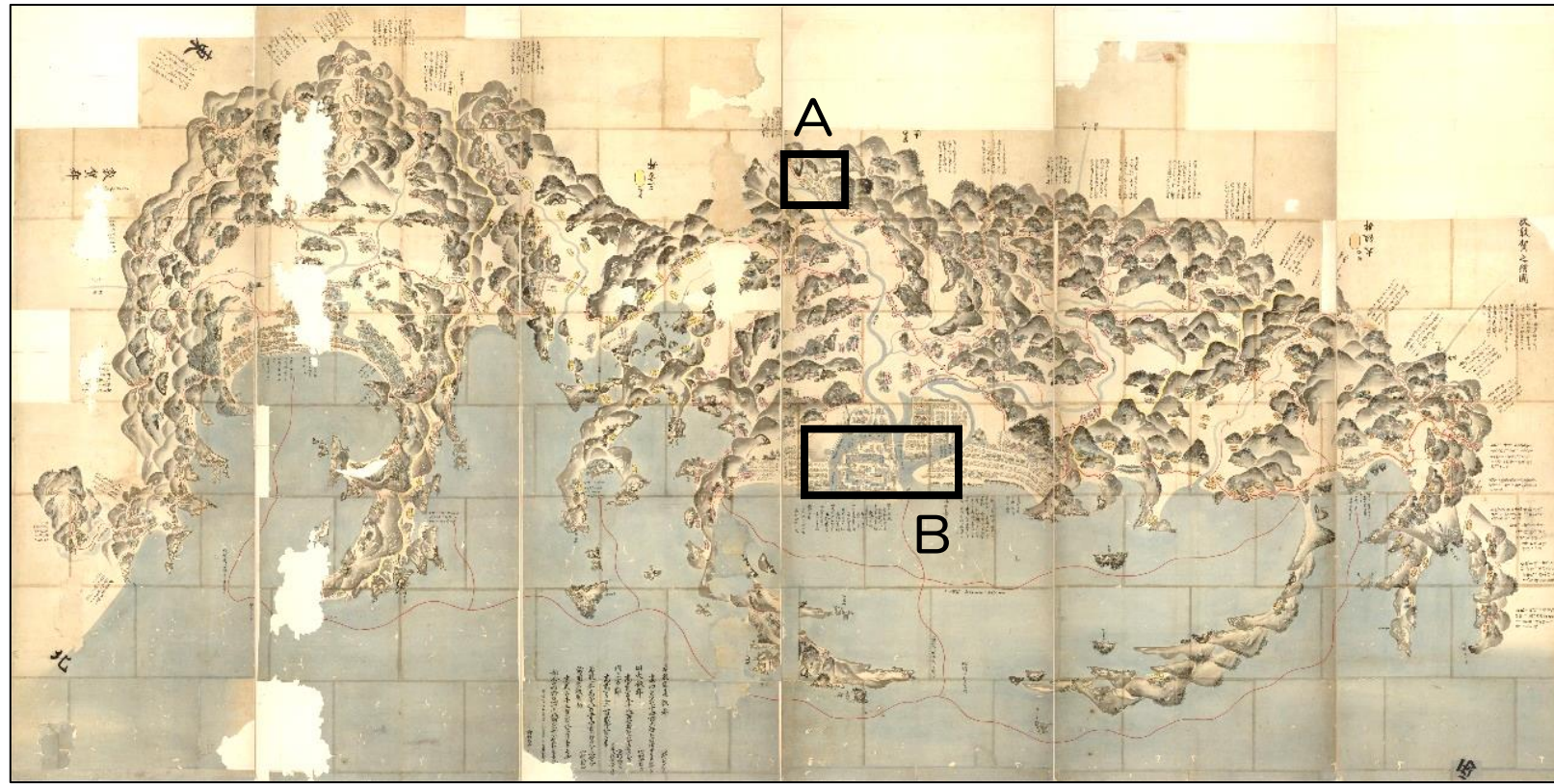


若狭・敦賀の絵図



解説・福井とのかかわり

本資料は、1644年（正保元）の幕命によって全国一斉に作成された正保国絵図のうち小浜藩の控図です。当時は**島原の乱**（1637～38）が鎮圧されてから間もないころであり、日本の対外政策に反対するポルトガルの侵略に対する危惧がありました。そこで幕府は、諸国の軍事情報・生産力（村高）の把握と沿岸防備体制を整えるために、国絵図と郷帳および城絵図を作成・提出させました。絵図には、縮尺や道路の描き方など統一的な作成基準が設けられていました。

本図は若狭国の三郡（三方郡・遠敷郡・大飯郡）だけでなく、越前国である敦賀郡（小浜藩領）を含めて描いています。

資料の注目ポイント

掲載図からはわかりにくいですが、村々を郡域ごとに色分けしています（敦賀郡：緑色、三方郡：黄色、遠敷郡：ピンク色、大飯郡：オレンジ色）。また、気比神宮、明通寺、羽賀寺そとも外面（蘇洞門）など敦賀・若狭の著名な史跡・名勝が詳細に描かれています。

拡大図 A は宿場町として栄えた熊川の部分で、「茶屋」の文字が見えます。「番所」の文字も見えますが、当時は中ノ町付近にあったことがわかります（江戸時代中期には現在の上ノ町に移転）。

拡大図 B は小浜城の部分です。本丸・二ノ丸・三ノ丸・西ノ丸・北ノ丸の間数や堀の深さ、広さが詳細に記されていることがわかります。一般的に国絵図ではあまり記載されない城下の町並の様子も描かれており、城下絵図的要素も兼ねる内容となっています。

1645年（正保2）「若狭敦賀之絵図」 酒井家文庫（小浜市蔵）[デジタルアーカイブへ](#)

デジタルアーカイブ福井では、より高精細な画像を拡大して見るができます。

関連資料、展示等

名称	概要	備考
「若狭敦賀之絵図」	酒井家文庫（小浜市蔵） 資料番号 O0057-20002	デジタルアーカイブ福井で閲覧可能。 https://www.library-archives.pref.fukui.lg.jp/archive/da/detail?data_id=011-1002388-0
『図説福井県史』 近世 14「港の繁栄（2）」	「若狭敦賀之絵図」を掲載。	当館「デジタル歴史情報」で公開中。 https://www.library-archives.pref.fukui.lg.jp/fukui/07/zusetsu/C14/C142.htm
『福井県史 通史編 3』近世一 第四章 都市と交通の発達	「若狭敦賀之絵図」を掲載。	当館「デジタル歴史情報」で公開中。 https://www.library-archives.pref.fukui.lg.jp/fukui/07/kenshi/T3/T3-4-01-03-02-02.htm

参考文献等

- ・『福井県史 通史編 3』（1994年、福井県）
- ・『小浜市史 絵図地図編』（1993年、小浜市）
- ・「福井県立図書館デジタルライブラリー」 <https://www.library-archives.pref.fukui.lg.jp/tosyo/category/shirukityou/384.html> （2023年1月14日閲覧）